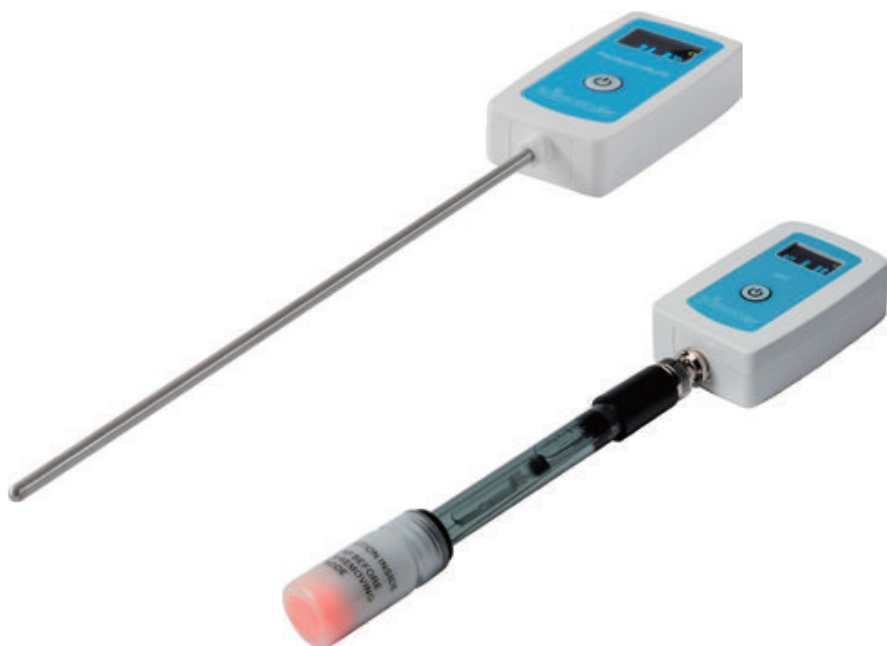


取扱説明書



ワイヤレスセンサ

No. 109-0635 WL-T（温度）

No. 109-0636 WL-PH（pH）

この度はワイヤレスセンサをお買い上げいただき、有難うございます。
ご使用前にこの説明書を読んで、注意事項を守っていただきますようお願い致します。
お読みになった後も、大切に保管してください。

■目次

注意事項	2
商品概要・仕様	3
充電方法	3
使用準備（アプリ・ソフトウェアのインストール）	3
使用方法（Windows）	4
使用方法（iOS）	6
使用方法（Android / ChromeOS）	7
WL-T（温度計）の校正方法について	8
WL-PH（pH 計）の測定・校正方法について	9

**注意**

この指示に従わず誤った取扱いをすると、
人的傷害や物的損害が発生する可能性があります。大変危険です。

- 落下させるなどの強い衝撃やセンサ部を曲げるなどの強い負荷を与えないでください。故障や事故の原因となります。
- 本器は防水仕様ではありませんので、濡れた手で操作したり、本体に水をかけたりしないでください。故障や感電の原因となります。
- 本器は屋外では使用しないでください。故障の原因となります。
- 改造による故障や事故については一切の責任を負いかねます。
- 本器を使用したことによって生じた PC またはタブレット・スマートフォンの動作障害やデータ損失などの損害について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 異音、煙、異臭や発熱、損傷などが発生しましたら、使用をやめお買い上げの販売代理店までご相談ください。

< Bluetooth® 通信を行う上での注意 >

本器は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。そのため無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

■ 本器を分解 / 改造すること

- ・ 本器は Bluetooth® 対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- ・ IEEE802.11g/b の無線 LAN 機器と本器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってからご使用ください。
- ・ 万一、本器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。
- ・ 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本器を使用しないでください。電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- ・ 本器を航空機内で使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。



技適マーク
図 202-SMD070

■商品概要・仕様

- ・無料アプリをダウンロードすればパソコンやタブレット端末に Bluetooth 接続し、リアルタイムで測定値を表示させることができます。
- ・測定値はリアルタイムで折れ線グラフとしてタブレット端末やパソコンに表示することができますので、値の変化がはっきりと分かります。
- ・本体にも測定値を表示するディスプレイがありますので、タブレット端末やパソコンに接続していない場合も計測が可能です。

型 式	WL-T	WL-PH
測定範囲	温度：－40～125℃	pH：0～14pH
精 度	±0.25℃（－40～125℃）	±0.1pH
測定間隔	最大100Hz	
対応 OS	Windows 7以降※ iOS 11.0以降 Android 4.0以降※ ChromeOS 最新版推奨※	
電 源	リチウムイオン充電電池	
大 き さ	41 × 280 × 18 mm 約 55 g	50 × 250 × 24 mm 約 110 g
付 属	USBケーブル	

※機種により Bluetooth 接続が不安定な場合があります。



■充電方法

本体上部の USB ポートに付属の USB ケーブルを差し込み、別途用意したパソコンの USB ポートや USB 充電アダプタに接続してください。



■使用準備（アプリ・ソフトウェアのインストール）

～ソフトウェア（Windows）のインストール方法～

インターネットに接続し、ダウンロードページより専用ソフトウェア（Science# for window）をインストールしてください。

<ダウンロードページ>

URL： <https://www.kenis.co.jp/dlservice/>



ダウンロードページ QRコード

※アプリは随時更新致します。更新の通知が出てきた際には、更新することをお勧め致します。

～スマートフォン・タブレット用アプリ（iOS/Android/ChromeOS）のインストール方法～

1. スマートフォン・タブレットを App Store または Google Play に接続し

「Sciencesharp」と検索します。

2. 「Science#」（右図）を選び、インストールします。


※インストールは無料ですが、別途通信料が発生します。

3. インストール後、ホーム画面にアイコンが表示されます。

※アプリは随時更新致します。更新の通知が出てきた際には、更新することをお勧め致します。



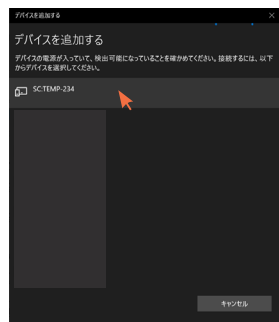
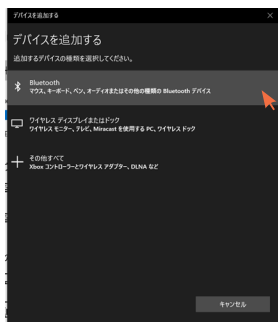
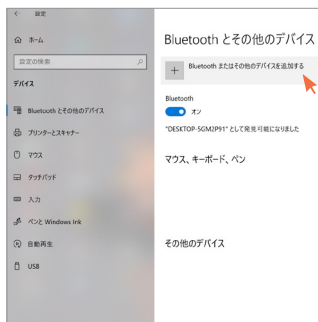
■使用方法（Windows）

 画面は Windows10 の場合です。バージョンにより画面表示・操作方法が異なる場合があります。
ソフトウェアの操作方法・画面はアップデートに伴い変更になる場合があります。

<接続>

A. Bluetooth（無線）で接続する場合

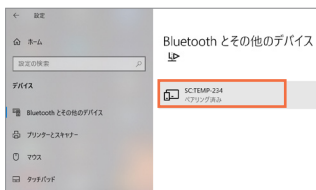
1. 本体の電源ボタンを押し、電源を入れます。（電源を切る際は電源ボタンを長押ししてください。）
2. パソコンの「設定」→「デバイス」を開きます。
※本体ディスプレイ左上に「PC」または「PC/App」の表示がある場合は下記の操作を行ってモードを変更してください。
3. 電源ボタンを長押しし電源を切る。
4. 電源ボタンを押し続け、ディスプレイに「Bluetooth mode change mobile」の表示が出たらボタンを離す。
5. ディスプレイ左上の表示が「Mobile」になっていることを確認する。



3. 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。

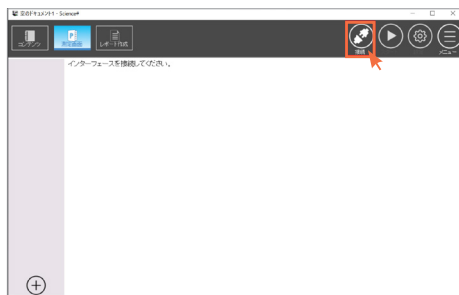
4. 「Bluetooth」をクリックします。

5. 「SC:TEMP(pH)-○○○」をクリックします。

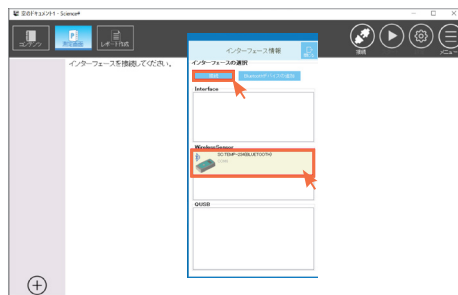


6. ペアリングできたことを確認し、「完了」をクリックします。

7. ペアリングが完了するとペアリング済として表示されます。
※ペアリングは初回接続時のみ必要です。



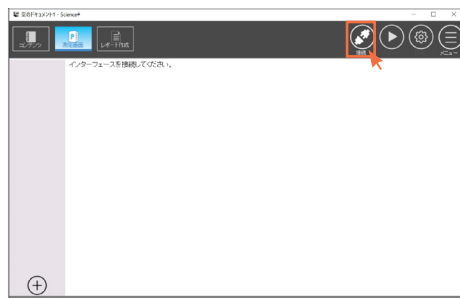
8. ソフトを起動し、「接続」をクリックします。



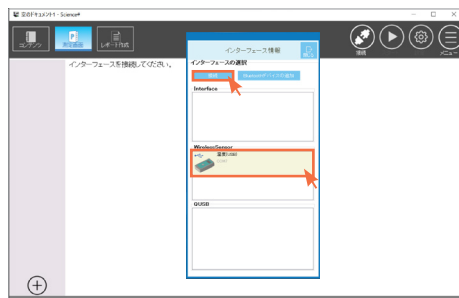
9. 表示されるセンサを選択し、「接続」をクリックします。

B.USB ケーブル（有線）で接続する場合

1. 付属の USB ケーブルで本体とパソコンを接続します。
2. 本体の電源ボタンを押し、電源を入れます。



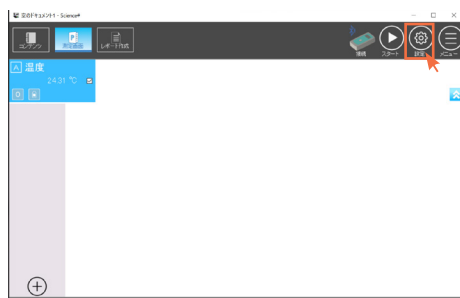
3. ソフトを起動し、「接続」をクリックします。



4. 表示されるセンサを選択し、「接続」をクリックします。

<計測・データロギング>

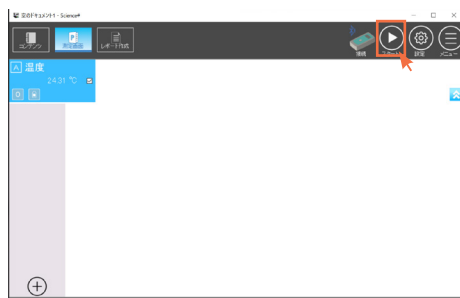
1. リアルタイムの計測値は画面左上と本体ディスプレイに表示されます。



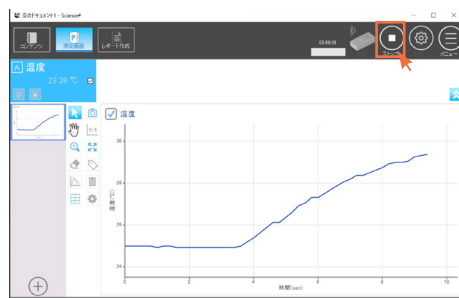
2. データロギングを行う際はまず「設定」をクリックします。



3. 設定画面でデータロギングに関する設定を行い「確認」をクリックします。



4. 「スタート」をクリックするとデータロギングが始まります。



5. 設定した測定時間が経過するとロギングが終了します。「ストップ」をクリックして途中で終了することもできます。

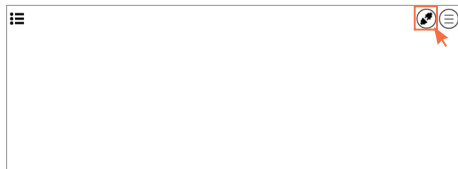
6. 記録データは右上の「メニュー」から保存ができます。CSVとして書き出すことも可能です。


■使用方法 (iOS)

 バージョン等により画面表示・操作方法が異なる場合があります。
アプリの操作方法・画面はアップデートに伴い変更になる場合があります。

<接続 (Bluetooth 接続)>

1. 本体の電源ボタンを押し、電源を入れます。(電源を切る際は電源ボタンを長押ししてください。)
 2. アプリを起動します。
- ※本体ディスプレイ左上に「PC」または「PC/App」の表示がある場合は 3 頁の操作を行ってモードを変更してください。



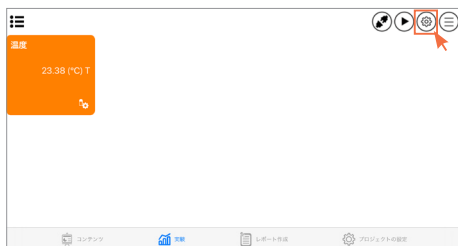
3. 画面右上の「接続」をタップします。




4. 画面左上の「検索」をタップし、表示される「SC:TEMP(pH) - ○○○」の「接続」をタップします。(○○○は本体裏面記載の番号)

<計測・データロギング>

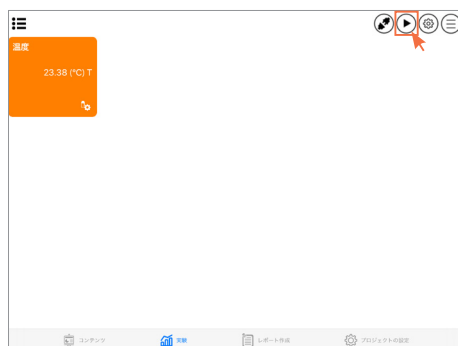
1. リアルタイムの計測値は画面左上と本体ディスプレイに表示されます。




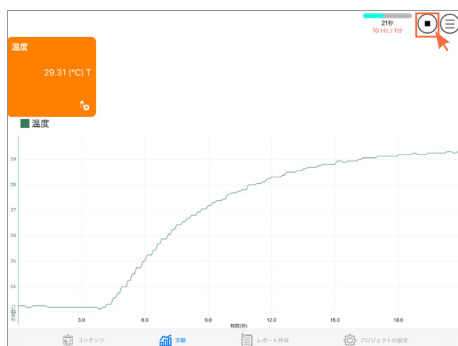
2. データロギングを行う際はまず「設定」をタップします。




3. 設定画面でデータロギングに関する設定を行い「閉じる」をタップします。



4. 「スタート」をクリックするとデータロギングが始まります。



5. 設定した測定時間が経過するとロギングが終了します。「ストップ」をクリックして途中で終了することもできます。

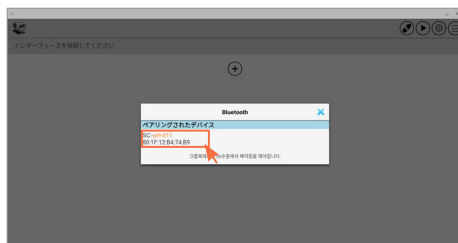
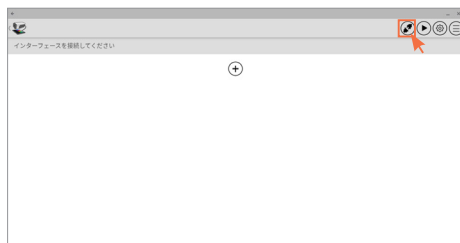
6. 記録データは右下の「プロジェクトの設定」から保存ができます。CSV として書き出すことも可能です。

■使用方法（Android / ChromeOS）

- ⚠** バージョン等により画面表示・操作方法が異なる場合があります。
アプリの操作方法・画面はアップデートに伴い変更になる場合があります。

<接続（Bluetooth 接続）>

1. 本体の電源ボタンを押し、電源を入れます。（電源を切る際は電源ボタンを長押ししてください。）
 2. タブレットの Bluetooth 設定画面でペアリングを行います。「SC:TEMP(pH)- ○○○○」と表示されます。
※ペアリングは初回接続時のみ必要です。
 3. アプリを起動します。
- ※本体ディスプレイ左上に「PC」または「PC/App」の表示がある場合は 3 頁の操作を行ってモードを変更してください。

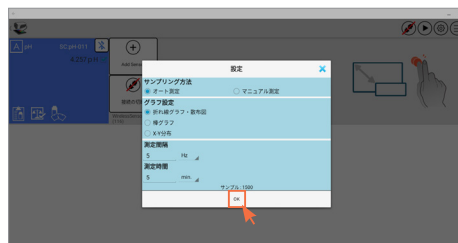


4. 画面右上の「🔗接続」をタップします。

5. 表示される「SC:TEMP(pH) - ○○○○」をタップします。

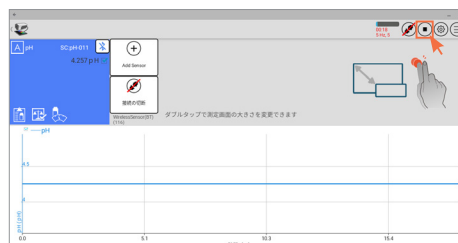
<計測・データロギング>

1. リアルタイムの計測値は画面左上と本体ディスプレイに表示されます。



2. データロギングを行う際はまず「⚙️設定」をタップします。

3. 設定画面でデータロギングに関する設定を行い「OK」をタップします。



4. 「🟢スタート」をクリックするとデータロギングが始まります。

5. 設定した測定時間が経過するとロギングが終了します。「🔴ストップ」をクリックして途中で終了することもできます。

6. 記録データは右上の「☰メニュー」から保存ができます。CSV として書き出すことも可能です。

■ WL-T（温度計）の校正方法について

<校正方法>

WL-T（温度計）はタブレット接続時（Windows）に測定値の校正を行うことができます。

※ iOS/Android/ChromeOS 版アプリは未対応ですが、アプリのアップデートにより対応する可能性があります。

準備物：温度が明確な液体



1. WL-T（温度計）を接続した状態で、ソフトウェア・アプリ上の「 校正」をクリックします。

2. 温度が明確な液体にセンサ部を浸け、「Setting value」に液体の温度を入力し、「設定」をクリックします。

■ WL-PH (pH 計) の測定・校正方法について

<測定方法>

1. 電極保護キャップを取り、本体の電源ボタンを押し電源を入れ、PC/タブレットと接続します。
2. 液体にセンサ部を入れ、ゆっくりと攪拌します。そのとき、少なくとも 20mm はセンサ部を浸してください。
3. 測定値が安定するのを待ち、測定値の読み取り、またはデータロギングの開始を行います。
4. 使用後は必ず電極部を蒸留水で洗い、電源を切り、電極保護キャップを被せて保管してください。

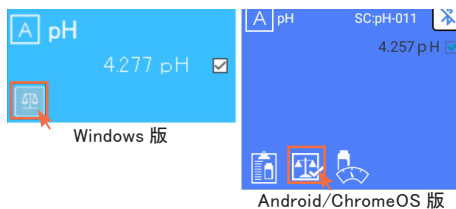
<校正方法>

ご使用前に必ず校正を行ってください。


WL-PH (pH 計) はタブレット接続時 (Windows/Android/ChromeOS) に測定値の校正を行うことができます。2 点以上の校正を推奨します。

※ iOS 版アプリは未対応ですが、アプリのアップデートにより対応する可能性があります。

準備物 : pH 校正液 4.00/7.00/10.00 の 3 種類またはそのいずれか



1.WL-PH (pH 計) を接続した状態で、ソフトウェア・アプリ上の「校正」をクリックします。

2.pH 4.00 (7.00/10.00) の校正液にセンサ部を浸け「・決定」をクリックします。これをそれぞれの校正液で繰り返します。

【MEMO】

※外観・仕様は改善のため予告なく変更する場合があります



※製品に関するお問い合わせやご要望は
←←左記 QR コードにアクセスください
※弊社の製品に関する保証規定はこちら→→



ケニス株式会社

大阪市北区天満 2-7-28
ケニス株式会社 企画部
TEL 06-4800-0724

2302MRver05